

大学運営会議議事録		
開催日 及び場所	令和4年6月9日(木) 午後2時00分から午後2時47分まで 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施	
出欠状況	出席:36名 欠席:2名	
<p>1 報告事項</p> <p>(1)2022年度 オープンキャンパスについて</p> <p>①静岡県立大学</p> <p>②静岡県立大学短期大学部</p> <p>(2)2022年度 高校教員対象入試説明会について</p> <p>①静岡県立大学</p> <p>②静岡県立大学短期大学部</p> <p>(3)地(知)の拠点事業(COC事業)「地域を志向した研究」の公募</p> <p>(4)SDGs イニシアティブ推進委員会の令和3年度活動報告と令和4年度計画について</p> <p>(5)新型コロナワクチン職域追加接種(3回目接種)の実施報告について</p> <p>(6)静岡県立大学学生支援企画『学びのための緊急給付金』について</p>		

・大学運営会議構成員の変更について

経営情報学部長が、一身上の都合により任期の途中ではあるが交代となり、湯瀬教授が同学部長に任命された。それに伴い、大学運営会議構成員の変更が必要になるが、現在も湯瀬教授には情報センター長として本会議構成員を務めていただいております、今後は学部長と情報センター長を兼務した形で御出席をいただくので、御承知おきいただきたい。

・前回議事録(案)の確認

令和4年5月の大学運営会議議事録(案)について、一部記載方法について修正を加えた形で承認された。

1 報告事項

(1) 2022年度 オープンキャンパスについて

①静岡県立大学

今年度も昨年度同様に、バーチャルオープンキャンパスを基本として実施することとなった。

実施内容は記載のとおりで、動画配信にあたっては多くの受験生がアクセスできるよう、8月上旬から年度末にかけて無制限公開する。詳細については現在各学部で検討いただいている。加えて、高校生と大学教員、在学生が双方向で情報交換ができるような企画も考えている。方法としてはZOOMと、今年度はバーチャルリアリティ空間という新しい企画も各学部で検討していただいている。

その他には、受験生は大学を実際に見たいという希望もあるので、現時点では食品栄養科

学部で小規模での来場型オープンキャンパス「ミニキャンパスツアー（上限 90 名）」を計画
中である。

スケジュールは、現在企画をとりまとめており、今後県内高校へ企画を告知し、7 月中に
動画作成、8 月に動画配信を予定している。

別途、来場型を希望する受験生のために入試室企画として、高校 3 年生を対象とした進学
説明会（本学学生との座談会等）を 8 月 22 日から 26 日に、午前午後に分けて 2 時間程度行
う。

②静岡県立大学短期大学部

短期大学部の今年度オープンキャンパスは、対面と動画配信を行っていく。

対面については、7 月 23 日に実施する。2 年間対面での実施は見送ってきたが、受験生
や保護者から実習施設などの見学の要望があり、今年度は感染対策を徹底し実施すること
とした。

実施内容は記載のとおりで、施設にてデモンストレーションも予定している。

コロナ対策としては、講堂の収容定員の半分である 170 名を上限とし、Web 上での事前予
約制とする。1 申し込み当たり 2 名（高校生 1 名、保護者 1 名）までとし、全体説明後の学
科ごとの説明会時には、保護者の参加は御遠慮いただき、高校生のみ参加とすることで、
実習室が密とならないような対応を考えている。

動画配信については、期間が 7 月 23 日から今年度末までを予定しており、短期大学部ホ
ームページ上で公開する。

その他には、オープンキャンパス mini を実施予定としており、内容は動画配信とする。
期間は 8 月 19 日から 11 月 30 日までの 3 か月程度を予定している。内容は各学科の教員に
よる模擬講義、公開方法は同様に短期大学部ホームページ上で公開する。11 月末までの配
信期間としているのは、年内の選抜について総合型選抜が 10 月 22 日、学校推薦型選抜が
11 月 26 日となっていることから、受験生にその間に見てもらえるように設定している。オ
ープンキャンパス mini の視聴回数が好評であった場合には、配信期間の延長や各学科の広
報として活用する予定。

(2) 2022 年度 高校教員対象入試説明会について

①静岡県立大学

目的は資料記載のとおり。説明会の方法として、従来は高校の教員に本学まで来訪いた
だき、6 月下旬に実施していたが、今年度も昨年度に引続き、動画配信により実施する。内
容は第 1 部に学部説明として、現在各学部の学部長に動画の作成をいただいている。第 2 部
は 2023 年度入試について、昨年度からの変更点などの説明動画を入試室で作成している。第
3 部は、昨年度実施の一般選抜入試問題についての狙いや形態などを説明する動画を配信
することとなっている。

本内容について、県内の高校には進路課へ動画の視聴の申込用紙を送付する。県外高校に
は受験実績のある高校を中心に同用紙を発送予定。オープンキャンパスとは異なり、制限を
かけた状態で、申込のあった高校側に URL を通知し視聴いただくというかたちで実施する。

昨年度は県内高校 130 名、県外高校 24 名の高校教員に視聴いただいた。

②静岡県立大学短期大学部

短期大学部では6月23日13時30分から本学講堂にて、高校教員を対象とした入試説明会を実施する。対象は静岡県内の高等学校及び過去5年間に介護福祉専攻への入学実績のある県外の高等学校に、案内状を送付した。今年度はWeb上での申込を採用したので、案内状がなくても、短大ホームページからの申込が可能となった。

説明会の次第は資料記載のとおり実施する。

説明会終了後、希望者を対象に施設見学を実施する。高校教員に実習室などを見学していただくことで、短大での学び及び他大学や専門学校との違いをより深めてもらいたいと考えている。

施設見学のコロナ対策として、小グループ編成で実施予定。

参考として過去3年間の参加者数は、令和3年度は36校、38名の教員が参加。令和2年度は45校、51名。令和元年度は35校、35名の参加があった。

(3) 地(知)の拠点事業(COC事業)「地域を志向した研究」の公募

例年通り、今年度も地域を志向した研究の公募を開始しており、5月11日に全教員への配信を行った。

実施要項の概要は資料記載のとおり。

本研究費を十分に活用していただきたい。

(4) SDGs イニシアティブ推進委員会の令和3年度活動報告と令和4年度計画について

先月SDGsイニシアティブ推進委員会を開催し、令和3年度活動報告と令和4年度計画が承認されたので報告する。

令和3年度活動報告は、高等学校に対しSDGs教育への協力として、依頼に基づき教員や大学院生などの派遣を行った。具体的に2021年度は、オンリーワンハイスクールに採択されている富士東高校及び静岡東高校、また、国のワールドワイルドラーニングコンソーシアム支援事業に採択されている三島北高校へ派遣した。

各高校の報告書については資料のとおり。

アドバイザーとして高校に行った大学生に対し、アンケートを実施した。調査の意図としては、大学の教育効果というものが認められるかという評価のために行った。

学生も指導という立場ではあったものの、SDGsについて学ぶところがあったものと評価している。高校との連携教育において、ともに学ぶという狙いもあったことから、今年も引き続き継続していきたい。

学生団体で、SDGsにかかわる活動をしている団体を紹介するというものについては、コロナ禍で積極的な参加が当初は無かったが、教員の協力もあり現在はホームページに10団体の掲載が得られた。実際の活動がどの様にSDGsに関わっているかが書かれているので、時間のある際に御確認いただきたい。

附属機関の取組としては計6センターが掲載されている。本ページも同様に、センターの活動がどの様にSDGsに関わっているかが端的に書かれている。詳細についてはリンクを記載しているので、こちらも御確認いただきたい。

学生向けのSDGsに関する意識調査アンケートは1,000名以上から回答があり、PDFにしてホ

ホームページ上で公開している。この調査は静岡新聞の記事にも取り上げられた。

FD 活動については昨年度から開始し、昨年度は1回実施したのみであり、今年度は1回ないし2回の実施を考えている。

その他の取組実績は資料記載のとおり。

令和4年度の計画について、静岡県立大学と連携している静岡東高校、富士東高校からは、既に学生の募集が届いている。静岡東高校からは、総合学習のサポートということで複数回実施、各回7名の依頼がある。富士東高校からも同様の募集があり、1年生に対して3日間、2年生に対して6日間の指導依頼がある。大学からはマイクロバスでの送迎を行うといったサポートをする。

その他の計画は令和3年度同様であるが、静岡県立大学内の附置センターとの連携として、令和3年度には声掛けが出来ていなかった附置センターに対しても、原稿作成の依頼を行っていく。

SDGs 見学会については、コロナ禍も落ち着きつつあることから、対象者を教員、職員、学生として、夏休みの8月、9月に3回もしくは4回の現地見学会をしたい。具体的な行先案（実施案）は資料記載のとおり。SDGs に取り組んでいる企業の見学については、いくつか候補を挙げており検討中である。

<質疑応答>

- ・SDGs の取組について、かなり多くの学部やセンターでホームページへの掲載は進んでいるという認識をしている。例えばグローバル地域センターでは今春より、センター全体での活動をSDGs という視点から改めて紹介した記事をホームページで出しているが、それに関する報告が無かった。実際に全学での取組実績はどのような状況か。（構成員）

- ・SDGs の取組について、グローバル地域センターをはじめとする附属機関は「附属機関の取り組み」という形でホームページに原稿を掲載しているが、その中で更に詳しい情報を確認できるよう、各センターへのリンクを貼っている。各センターのホームページ上でのSDGs の取組に関する掲載情報は、センターによって温度差があるという印象を受けている。（説明者）

- ・取組を掲載しているセンターに関しては、積極的に広報いただきたい。（構成員）

- ・高校との連携活動や本学でのSDGs 関連の全学共通科目の関心が高いという部分について、例えば今年本学で行うオープンキャンパスで、SDGs 活動についての広報を行っても良いのではないか。SDGs については高校生の関心も高く、それによって本学への関心も高まるかもしれない。直接その時間は確保できなくとも、チラシを配るなど、何らかの形で広報できれば良いと考える。（構成員）

- ・取組報告については説明いただいたとおりホームページ上でリンクされており、原稿がどの程度掲載されているかという部分については、報告書の表現もホームページ上（実態）に合わせた方が良い。オープンキャンパスでの広報については良い発案なので、担当者とは相談の上、御対応いただきたい。（議長）

- ・報告書の表現については、議事録を見ながら加筆する。（説明者）

(5) 新型コロナワクチン職域追加接種(3回目接種)の実施報告について

実施日時は先月の5月24日から26日の3日間で実施した。接種実績は3日間で合計624名の接種を行った。内訳は学生が573名、教職員が51名。

接種会場は草薙キャンパス看護学部棟2階 臨床研究施設13214室。

実施体制は、すべて学内の教職員で対応した。3日間で延べ132名の教職員に御協力いただいた。

接種実施時の特記事項として、5月24日(1日目)に「注射器からの薬液漏れによる接種未完了」という事象が1件発生したが、厚生労働省ワクチンセンターへ即時で対応の確認を行い、再接種可という判断になったので再接種を行った。被接種者のその後の健康上の問題は確認されていない。本件については、本学医務室にてフォローを行っている。併せて厚生労働省より、本ケースについて、被接種者が住民登録されている自治体へ報告するよう指示があったので報告を行った。

今後のワクチン職域接種について、新型コロナワクチン4回目接種の対象が、3回目接種から5か月以上経過した者のうち、60歳以上、または18歳以上60歳未満の基礎疾患を有する者などの規程があり、現時点では本学での職域追加接種は予定していない。

(6) 静岡県立大学学生支援企画『学びのための緊急給付金』について

今般の新型コロナウイルス感染症は学生にも大きな影響を与えており、特に経済的な影響により大学での修学が困難になっている学生が学ぶことを諦めることが無いよう、今年度から静岡県が「学びの継続支援事業」を実施することとなった。

本学でも本事業を活用するよう静岡県へ申請を行い、給付金が交付された。その給付金を用いて、資料に記載のとおり、静岡県立大学での学生支援事業を行うこととする。

これから募集を行い、一律5万円を約1,300人の学生に対し、緊急給付金として現金支給する。支給は7月末からを予定している。